

議会だより



八丈町

No.204

2022.11.25 発行



News Letter From Hachijo Town Assembly

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます

<https://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/gikaidayori.html>

新しい議員 12 人の顔ぶれ



さなだ ゆきひさ
① 眞田 幸久
無所属 1 期



あさぬま たかあき
② 浅沼 隆章
無所属 2 期



おくやま さちこ
③ 奥山 幸子
無所属 6 期



あさぬま きよたか
④ 浅沼 清孝
無所属 1 期



やました のりこ
⑤ 山下 則子
公明党 2 期



かながわ たかゆき
⑥ 金川 孝幸
無所属 2 期



おくやま のぼる
⑦ 沖山 昇
無所属 1 期



いわさき ゆみ
⑧ 岩崎 由美
無所属 4 期



あさぬま あおみ
⑨ 浅沼 碧海
無所属 1 期



やました たくみ
⑩ 山下 巧
無所属 3 期



あさぬま のりはる
⑪ 浅沼 憲春
自由民主党 3 期



やまもと ただし
⑫ 山本 忠志
公明党 3 期

CONTENTS

第 1 回八丈町議会臨時会

令和 4 年 10 月 26 日開催

第 3 回八丈町議会定例会

令和 4 年 9 月 5、6 日開催

1P 新しい議員 12 人の顔ぶれ

2P 新たな議会へ 新議長あいさつ

正副議長、および委員会委員の選任

3P 一般質問

※ 3~9P は改選前議会での

第 3 回定例会の審議内容です。

9P 質疑より

10P 新しい議員の抱負

新たな議会へ

新議長あいさつ

八丈町議会議長 山本 忠志

平素より八丈町議会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

令和4年第一回八丈町議会臨時会におきまして、民主主義の最も根幹をなす選挙によって八丈町議会の第30代議長に選任され、就任することとなりました。身に余る光栄であり、また、その使命と責任の重さに身の引き締まる思いであります。

我が国の地方自治の本旨は、議会と執行部は共に切磋琢磨して、社会福祉をはじめとした町民生活の向上に努めていくという、いわゆる二元代表制にあると考えています。

しかしながら地方分権の進展にともない、町議会の果たすべき役割はますます重



要になっており、さらに最近では、人口減少による人手不足、新型コロナへの対応、円安による諸物価高騰、核兵器をちらつかせながらのきな臭い匂いなど、かつてない課題に直面しております。

私たち議員の使命は、こうした課題を解決するために町民の皆様の声を真摯に受け止め、町長はじめ行政当局と議論を重ねて課題解決のためにしっかりと取り組んでいくことであると考えております。

今後とも町民の皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます、就任のご挨拶いたします。

正副議長、および委員会委員の選任

10月26日の令和4年第一回八丈町議会臨時会で正副議長並びに各委員会委員、および監査委員の選任をいたしました。

議長 山本 忠志

副議長 浅沼 憲春

◎常任委員会

(任期) 常任委員会・議会運営委員会
令和4年10月26日～令和6年10月25日

○総務文教委員会 定員6名

委員長 浅沼 隆章

副委員長 山下 則子

委員 真田 幸久 沖山 昇

浅沼 碧海 浅沼 憲春

○経済企業委員会 定員6名

委員長 岩崎 由美

副委員長 金川 孝幸

委員 奥山 幸子 浅沼 清孝

山下 巧 山本 忠志

◎議会運営委員会 定員6名

委員長 奥山 幸子

副委員長 真田 幸久

委員 浅沼 隆章 金川 孝幸

岩崎 由美 浅沼 碧海

◎監査委員 山下 巧

(任期) 監査委員

令和4年10月26日～令和8年10月24日

一般質問

9月5日
質問者8人

9月定例会では8名の議員が町政全般へ16項目にわたる一般質問を行いました。掲載した原稿は、質問議員が作成しています。なお、紙面の都合上、質問内容、回答ともに要約したものとなっております。中には表現が固くなる場合があります。ご了承ください。
質問の録画映像はインターネットでご覧いただけます。
<https://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/movie.html>



氏名	質問項目
宮崎陽子	1. 八丈島在住の中学生と高校生を対象とした「八丈町中高生議会議員公選事業」主権者教育の取り組みについて 2. 安心して子どもを産み育てられる環境形成のために、「高校生までの医療費無償化」に向けた新たな制度について 3. 令和2年12月議会定例会で通告した「特別支援教育の充実と将来の就職先」に関する八丈町からの今後の指針について
山本忠志	1. 白内障手術の待機期間の短縮を 2. 人手不足対策として、移住者の住宅費補助制度の検討を
浅沼隆章	1. 中学校職場体験授業の内容と受け入れていただく事業所について
金川孝幸	1. 防災行政無線やホームページおよび町の広報について 2. 町営温泉の改善について
沖山恵子	1. 人口は減少するが大川浄水場の規模は適正か 2. コロナの判定薬は適切に使われたか
山下巧	1. 無電柱化に伴う交通環境の整備について 2. アシジロヒラフシアリ被害の対策について
山下則子	1. マイナポイントの恩恵を全ての人に 2. コンタクトレンズ購入のために処方箋の発行を
岩崎由美	1. 田園空間への火入れを実施しては 2. アシジロヒラフシアリ駆除による環境への影響は



みやざき ようこ
宮崎陽子議員

八丈島在住の中学生と高校生を対象とした「八丈町中高生議会議員公選事業」主権者教育の取り組みについて

問 町づくりの重要性を考えたときに、時代を牽引する若者が持つ力が必要。コロナ禍

になり、新たな手段としてのデジタル化も日常となった今日、デジタルネイティブ世代の活躍がより一層求められている。学生時代から政治や行政を身近に実感できる教育を推進し、若者の活躍の場が築けるように、町からの見解を問う。

答 総務課長 八丈町の将来を担う人材を育てる取り組みとして、町の政治行政に関心をもってもらう有効的な取り組みだと思う。子供たちが自主的に取り組んでいくことが重要であり、関係機関と実施自治体の事例を参考に検討する。

安心して子どもを産み育てられる環境形成のために、「高校生までの医療費無償化」に向けた新たな制度について

☑ 島しょ部としていち早く八丈町で声をあげて、早期決断を望む。八丈町からの今後の見解を問う。

☑ 福祉健康課課長補佐 八丈町としてもぜひ、令和5年度中の実施に向け、都と調整していきたいと考えている。

令和2年12月議会定例会で通告した「特別支援教育の充実と将来の就職先」に関する八丈町からの今後の指針について

☑ 島しょ地域初！八丈町に特別支援学校高等部の分教室が設置され、令和3年から3年間というモデル事業である期限を念頭に持続性ある本格的な事業化を目指すために八丈町からのビジョンの提示を積極的に行うことを以前通告したが、今後の町からの就職支援について問う。

☑ 教育課長 島内での自立と社会参加、就労に活かすため職業体験学習カリキュラムを組んでいる。八丈町も職場体験する生徒を受け入れて就労支援に取り組みたいと考えている。

☑ 町長 特別支援学級は大きな事業で、知事をお願いして実現でき非常に嬉しく思う。実際の職場でどういう仕事ができるのかを体験し、その中で何ができるのかが一番重要。職場ではある程度の支援が必要になるので、どれだけフォローでき、卒業生が自立して活動していけるか、現場の課題を一つ一つ解決していきたい。



やまもと ただし
山本忠志 議員

白内障手術の待機期間の短縮を

本年5月、町立八丈病院で白内障と診断さ

れた高齢者が島内での手術を希望したところ、終了まで10カ月かかると言われた。島内での白内障手術はありがたいが、その期間短縮を願って、以下2点を問う。

☑ 新型コロナウイルス感染症拡大前後の数年間について、年間の島内白内障手術回数、および手術を受けた人は何人か。

☑ 病院事務長 白内障の手術を受けた人数は、平成31年度は59名、令和2年度は65名、令和3年度は86名であった。眼科の臨時診察は毎月4回、1日約50名が受診しており、白内障手術はその診察の午後、年6回、約15名ずつ実施している。スタッフも限られており、これ以上増やすのは難しい。

☑ 白内障の診察から手術まで10カ月を要している現状は、島内での2025年問題の始まりとも考えられるが、町の所見を問う。

☑ 管理者 町立八丈病院では、2025年問題を含めて、赤字と黒字の明確化や訪問診療の実施など、今後の新しい取組みについて経営会議を開いて検討している。その会議の中で諸課題について考えていきたい。

人手不足対策として、移住者の住宅費補助制度の検討を

☑ 現在の八丈町の人手不足は深刻な状態となっている。一方、新型コロナによる都会から地方への移住希望者にとって八丈町は格好のターゲットとなり得るが、適度な住宅がないことが大きな課題である。その解決策として、移住者の住宅費補助制度を検討してほしいが、町の所見を問う。

☑ 企画財政課長 八丈町への移住定住促進と中小企業における人手不足の解消を目的とした八丈町定住促進サポート事業支援金制度(都負担75%)を利用して、移住者に対して支援金を交付している。2人以上の世帯には100万円、単身者には60万円。またテレワークの場合も2人以上世帯に50万円、単身世帯に30万円を支給している。今年度は希望者が多く、単身者13名、テレワーク世帯1世帯分を追加補正した。当初は、補助金目当を防止するためPRを控えていたが、今はお仕事掲示板に定住支援金の対象になることを明記している。



あさぬま たかあき
浅沼隆章 議員

中学校職場体験授業の内容と受け入れていただく事業所について

問 今年度から新たに始まった事業となるが、八丈町の子供たちの未来を決めていくうえで、大変貴重な体験ができる授業であると考えている。昨年までは島内の事業所に生徒の受け入れをお願いしており、今年度から島外でも職場体験を行うことになった。各学校で島内と島外で受け入れていただく事業所が違っていると伺っているが、富士中学校・大賀郷中学校・三原中学校でどのような事業所が受け入れを行っていただくことになったのか。また、3月議会の際に、体験することが大切であり、見学にならないように要望したが、実際どのような内容で行う予定なのか。

答 教育課長 時期は各中学校とも11月を予定している。受入事業所については、各校とも現在交渉中である。これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、各事業所とも生徒の受け入れに積極的でない傾向が強くなり、ある学校は20社近く相談したが全て断られているという報告を受けている。現在、継続して交渉しているのは、日本の大手広告代理店、大手都市銀行（メガバンク）、アメリカのガーファ（GAFA）といわれるITを活用したサービスを展開するグローバル企業の1社と交渉している。このようなことから内容の確定までは決まっていない状況だが、東京グローバルゲートウェイ（通称・東京英語村）で、海外での勤務や生活を想定した英語でのやり取り、銀行やホテル、スーパー、病気になった時の対応など、さまざまな状況を想定した体験を行う日程を事業所体験と合わせて計画している学校もある。



かながわ たかゆき
金川孝幸 議員

防災行政無線やHP（ホームページ）および町の広報について

問 防災無線やHPおよび広報について、わかりづらい、誤解を与える、「詳しくはHPを」の案内は不親切、との声がある。

答 NHKでは放送番組審議会を設けて視聴者の声を聞き、番組の改善向上に勤めている。町でもやらないか。

問 総務課長 7月に戦略的広報に関する職員研修会を実施した。改善についてまずは庁内において検討する。

問 防災無線を短い間隔で流しているが、緊急でない放送はまとめて流すことはできないか。

答 複数の情報をまとめると伝わりにくくことも考えられる。放送回数を見直して間隔を開ける。

問 ITを活用した情報提供は重要と思うが、IT活用の情報提供は十分か町の認識は。

答 高齢者のIT活用は重要と認識している。防災無線についてのアンケートを実施した。回答した高齢者の約20%はITを使い防災情報を得ている結果も得られた。

町営温泉の改善について

問 みはらしの湯の露天風呂は開設当時は湯船に浸かったまま海が見えた。溢れるお湯で擁壁の倒壊を防ぐため、幅を広げさらに高くしたことで、縁に横たわり日光浴をする男性がいるなど景観を悪くした。この景観を改善しないか。

答 福祉健康課長 利用者の安全、安心のための落下防止、目隠しは重要であり柵の設置を考えている。

問 俳優の原田龍二さんを「温泉で気持ちよく、マナーでさらに気持ちよく。八丈島」大使に委嘱したが、大使名が長く役割が分かり難い。温泉大使に改めないか。

答 大使の名称に「マナー」が入ることで、

入浴方法などマナーやモラルの啓蒙に繋がると期待しており、名称を改める考えはない。

問 観光地の温泉として飲食物の提供を求め声があるが要望に応える考えはないか。

答 以前ザ・ブーンにアルコール類の自販機を置いたことがある。飲酒後の入浴は健康の面で危険であり、客が飲酒運転をしているとの声もあり、撤去した経緯もある。



おきやま けいこ
沖山恵子議員

人口は減少するが大川浄水場の規模は適正か

島は人口も水の使用量も減っているが、大川浄水場の建て直しが進んでいる。大きな施設は維持費も大きい、大きく作りすぎているのではないか。三根と大賀郷それぞれに大きな施設が必要か。この先何十年と多額の維持費が必要なら、たとえ違約金をはらっても適正規模の施設を作った方が、町の財政のためには良いと思うが、水の使用量を計算したとき、今の設計規模の物が必要か。

問 坂下地域の水道使用量と、大川・鴨川浄水場の供給量を比較した場合どれだけ供給が上回るのか。

答 企業課長 坂下には浄水場が4つあり、令和3年度決算時、供給量が約127万 m^3 、使用量が約88万 m^3 で供給量が約39万 m^3 多い。しかし一日に換算した量は約1069 m^3 。仮に施設が故障した場合、この程度の余裕が必要と考える。

問 今の設計で完成した場合、維持費（浸透膜の交換費用などを含む）は10年でいくらと見込むか。

答 補助金分を除き、年間約528万円、10年で約5,280万円を見込む

コロナの判定薬は適切に使われたか

島でも定期的にコロナが流行し、今回は子どもを介して広がったのではと聞いた。

封じ込め対策で、一人感染したら周囲をみな検査して、休ませたらよいと思うが、町が子どもに対して行った予防対策はなにか。

問 子どものワクチン接種率は。

答 福祉健康課課長補佐 5歳～12歳25.8%
13歳～18歳78%

問 保育園や小学校での予防対策は。

答 保育園は施設やおもちゃの消毒、手拭きタオルを止めてペーパータオル使用。毎朝の体温確認などを行っている。

答 教育課長 小中学校は、可能な限り感染対策を行った上で、手洗い・換気・咳エチケット・黙食等の対策を実施、感染者がいた場合はガイドラインに従い、対応している。

問 都から配られた判定キットは活用したか。

答 福祉健康課課長補佐 PCRキット30個が配布された。保健所で濃厚接触者の特定および検査が即時に実施されない時の使用が目的で、保育園では受付期間は対象者がなく、使用していない。

答 教育課長 小中学校は抗原検査キット40個を配布され、島外に遠征に行く際の検査に使用した。新たに200個注文中。今後も上京の際など活用したい。



やました たくみ
山下 巧議員

無電柱化に伴う交通環境の整備について

問 近代社会、観光地においては安全な交通環境の整備は重要。八丈島は道路整備は進んでいるものの二輪車にとっては安全に通行できる環境にない。今後八丈島は無電柱化の拡幅工事も実施される。この機会に二輪車レーンを道路設計に取り入れていただきたい。既存道路は道路端の側溝を走るため極めて危険である。通勤、通学、観光サイクリング、郵便配達従事者にとって二輪車レーンは重要で災害時には車両避難スペ

ースを確保できる。電動アシストなど新しい乗り物にも対応していただきたい。

☒ 建設課長 町には二輪車スペースの整備の計画はないが、具体的な区間についての要望があれば都の道路整備計画を踏まえながら検討したい。

アシジロヒラフシアリ被害の対策について

☒ 数年前から大量のアシジロヒラフシアリが農作物や家屋、住宅内の電気配線に入り込み故障やショートによるボヤ火災の原因となっている。一昨年町ではアリ駆除の実証実験を行ったが、今後の取り組みについて説明を願う。

☒ 住民課長 本年度は、アリの活動期となる4月から9月までの月1回の計6回、地域も檜立、中之郷、末吉の坂上全地域に拡大して現在防除試験を実施中。4月から8月まで既に実施済みで、9月下旬のあと1回を予定している。8月に実施した1回目アンケート結果では、効果ありが86.6%との結果を得られている。来年度の令和5年度は、三根、大賀郷地域にも拡大し、実施するため、地区ごとの参加を募っている最中。その結果の希望数量を積算し、3月議会の来年度予算でご審議いただきたい。



やました のりこ
山下 則子 議員

マイナポイントの恩恵を全ての人に

☒ マイナンバーカードとマイナポイントについて、2点を伺う。現在の八丈町のマイナンバーカードの普及率と、普及を促すため町はどのような努力をしているのか。障がい者や認知症の方がマイナンバーカードにキャッシュレスサービスとの紐付けをするとき、電子マネーなどのキャッシュレスサービスを持っていない場合、ポイントを受け取るにはどうすればよいのか。

☒ 住民課長 7月末現在の八丈町のマイナンバーカード普及率は38.6%で、全国平均

45.9%、全国町村平均41.5%。マイナポイントを受け取る条件にはマイナンバーカードが必須。カードの普及に向け、町長による官公庁連絡会などでの推奨活動や、住民課ではマイナポイントの予約、申込が困難な方に、ていねいに設定のお手伝いをしている。障がいの有無にかかわらず、キャッシュレス決済サービスがない方はマイナポイントとの紐付けはできない。カード取得に際して、認知症などの疾病で本人の意思が確認できない場合は町職員はお手伝いできない。新たな個別のキャッシュレスサービスの選択に関することは個人に関する事なのでご案内は困難である。マイナポイント事業は、キャッシュレス決済の浸透も目的となっているが、マイナンバーカードはマイナポイントのためではなく、国民一人一人に必須となることが求められる。

コンタクトレンズ購入のために処方箋の発行を

☒ 中高生がコンタクトレンズを作りたいとき、簡単に上京できないので、処方箋を発行してもらいたいが、町の見解は。

☒ 病院事務長 当院での眼科外来は、月4回・年間48回の診療で、年間2560名・1回日平均50.2名の受診がある。眼科では看護師・補助者で5名ほど必要。昨年より耳鼻科・精神科の診療日を増やしている。これ以上に診療を増やすことは、他の臨時診療との関係もあり、看護師の配置が厳しいのでむずかしい。したがって、処方箋の発行も考えていない。



いわさき ゆみ
岩崎 由美 議員

田園空間への火入れを実施しては

「火入れ」はマイナス面もあるがプラスの効果も期待される。「八丈町火入れに関する条例」に定められる手続きを踏めば可能。このような伝統的農業技術を継承することは重要。

田植えや稲刈りに加えて、火入れを実施してはと考えるがいかがか。

産業観光課長 火入れというのは、土地を肥やすために野山に火を放ち、枯れ草などを焼くことなので、すでに開墾されている田んぼで火入れの予定はない。

アシジロヒラフシアリ駆除による環境への影響は

薬剤の種類、配布方法、散布方法は。

住民課長 本年度は檜立、中之郷、末吉で実施。昆虫類には強い神経毒性を有するが、脊椎動物には作用しないとされるネオニコチノイド系のチアメトキサムを、砂糖を含んだ水で0.001%に薄めて1.8ℓのジェル状のパックを配布。各世帯で4月～9月までの月1回防除試験を実施。8月に行ったアンケート結果では「効果あり」が86.6%。

在来種への影響は把握しているか。

5月、6月下旬の散布時期がクワガタなどの活動期と重なったため、誤食により死んでしまった事例が報告された。対応として薬剤をプリンなどの空き容器に入れ、水切

りネットをかけるなどして設置するよう案内書を全戸配布。

2017年12月には日弁連で人畜に影響をおよぼすことから新規ネオニコチノイド系薬剤の使用禁止に関する意見書が出た。散布は任意か。

散布は任意。不要な場合は振興委員に伝えれば配布しない。

有害なものが入って来たら薬を撒くということを繰り返すのではなく、外来種を入れない工夫をすることが大切では。

廃棄物行政の連絡会議などがあるので、そのような場で議題のひとつとして島しょ部全体で諮っていきたい。

本実験はいつまで行うのか。効果があれば薬剤が開発されるのか。

来年度は坂下地域にも拡大して実施するが、東京都の補助事業は終わる。薬機法上、実証実験ということでしか散布は認められていない。コイレットを開発している殺虫剤会社にチアメトキサムの殺虫剤を開発できないかと相談中。市販に結びつくかは定かではない。

主な議決事項

9月定例会

令和4年9月5、6日

- ◎ 専決処分事項の報告及び承認について（令和4年度八丈町一般会計補正予算）ほか専決処分2件
- ◎ 専決処分事項の報告について（建物明渡等請求事件）
- ◎ 八丈町教育委員会委員の任命の同意について
- ◎ 令和4年度八丈町一般会計補正予算ほか補正予算6件
- ◎ 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例ほか条例6件
- ◎ 町道の路線の廃止及び認定について
- ◎ 八丈町立大賀郷中学校特別教室等空調設置工事請負契約ほか契約1件
- ◎ 令和3年度八丈町水道事業会計利益の処分及び決算認定について
- ◎ 令和3年度八丈町一般旅客自動車運送事業会計決算認定についてほか決算認定2件
- ◎ 令和3年度八丈町水道事業会計継続費精算報告について
- ◎ 令和4年度八丈町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和3年度分）について
- ◎ 八丈町議会会議規則の一部を改正する規則

10月臨時会

令和4年10月26日

- ◎ 八丈町消防委員会委員の選任について
- ◎ 八丈町監査委員の選任の同意について
- ◎ 専決処分事項の報告及び承認について（令和4年度一般会計補正予算）ほか専決処分1件
- ◎ 令和4年度八丈町一般会計補正予算

主な会議事項

議会運営委員会

令和4年8月29日

- ◎ 令和4年第三回八丈町議会定例会について

総務文教委員会

経済企業委員会

令和4年10月26日

議会運営委員会

- ◎ 正副委員長互選

全員協議会

令和4年9月6日

- ◎ 水道料金及び浄化槽使用料の改定について

全員協議会

令和4年10月26日

- ◎ 各種委員会委員の選任について

質疑より

● 非課税世帯等臨時特別給付金について

山本 忠志 議員 2千万円は、非課税世帯に対するものとコロナ減収による家計急変世帯の両方があると思われる。両世帯への内訳は。

福祉健康課課長補佐 170件が非課税世帯で、30件を家計急変世帯に計上している。

沖山 恵子 議員 受給し損ねた人はどうなるのか

福祉健康課課長補佐 令和3年度分を2月18日付で出して、締切りは3ヶ月で5月17日だったが、国は最長で年内の受付可能としているので、令和3年度の未支給のところをピックアップして10月中にはその世帯に通知を出そうと考えている。

● 建物明渡等請求事件について

沖山 恵子 議員 家賃滞納によって請求事件に至った経緯は。

建設課長 令和2年9月分から滞納が始まり、督促状の送付、相手方の呼びかけ、また入居時に納付された保証金から住宅費に充てている部分もある。滞納家賃が3ヶ月溜まった時点で条例に基づいて、住宅明渡請求を行った。町としては明け渡しぎりぎりまで滞納家賃の納付相談に応じる構えでいたが、期限までに支払いの意思を確認できず、これ以上放置しているのは滞納家賃が膨れ上がるということで明渡請求訴訟を行った。



浅沼 憲春 副議長 和解という形しかないと思うが、弁護士費用60数万円をかけて20万円を回収するのであれば、最初から放棄してもいいのではないか。

建設課長 住宅を使っている以上、使用料は払っていただくというのがこの住宅を使っている方に対しても公平な判断であると思うので放棄という選択肢はない。

● 東京宝島サステナブル・アイランド創造事業について

山本 忠志 議員 当事業について、主体は町だが、パートナーに「みずほ」が指定された経緯について説明を。また今後の予定は。

企画財政課長 2020年8月、八丈町と八丈町商工会、みずほ銀行と3者でキャッシュレス化推進に関する包括連携協定を結んだ。この頃からみずほとはいろいろな協議を進めてきた。そこへ昨年サステナビリティの関係の東京都の補助金の話があった。そこで、みずほと八丈町はパートナーとして協力し合いながらサステナビリティとDX関係の事業を進めていく流れできている。今後については、東京都の審議会を通過していないので、今回は資料を作っていない。改めてご案内する。

● 大川浄水場工事について

浅沼 隆章 議員 大川浄水場地質調査委託517万円は、何の調査か。

企業課長 杭を打ちこんでいく作業の途中で支持層にあたらぬという状態となり、再調査を行う委託料。

浅沼 隆章 議員 この杭の打ち直しによって、上に建てる予定だったものに影響があるのか。

企業課長 上物に関しては、今のところこの杭工事に関しては影響はない。

全協での質疑（令和4年9月6日）

岩崎 由美 議員 浄化槽は島の環境改善のために設置するのが同事業本来の理念。しかし、現状では浄化槽設置者の負担が未設置の方よりも大きくなっており、不公平感がある。

管理者 島全体で島の環境を良くしていくために何が出来るかというのは考える必要がある。公営企業として未設置の場所からの負担分を徴収するということは無理だと考える。

住民課長 汚水の処理については住民課が主幹。今回の議会において、浄化槽未設置のし尿のみを11円から13円、浄化槽汚泥の方は9円のまま約1.5倍の差を設け、浄化槽をつけてないお宅は、浄化槽を使用されている方よりは使用料の比率が高いという形で差を設けている。今後も議会の皆様と相談しながらバランスをとり、浄化槽で適正に使われている方よりは重くしていきたいという方針で、し尿のみ値上げしているということをご理解いただきたい。

当選した議員 12 人に抱負を聞きました。

① 真田 幸久 (57 歳)

「住民の意見を活かす町づくり」、「住民に開かれた町政、住民が参加しやすい町政を」のスローガンをこれからの 4 年間で実現し、住民の皆様のご意見を可能な限り町政に反映させるため、努力してまいります。また、住民の皆様による町政への積極的な参加をお願い致します。

② 浅沼 隆章 (43 歳)

人材育成への補助や講習会、再生可能エネルギーを活用した地域振興、ごみ問題を含めた島内で循環できる社会構築を町の魅力に変えて、持続可能な島を目指し、災害に強く、持続的にライフラインが確保できる安全安心な島づくりに取り組みます。2 期目も全力で頑張ります。

③ 奥山 幸子 (73 歳)

気がつけば、最年長に。20 年議員を続けてきたものとして、その経験を議会改革に活かしていきたいと思えます。議長の時にも果たせなかった、議会基本条例をぜひ作りたと思っています。住民との対話も進めたい。今議会では新人が 4 人と多いので、議会の活性化を期待しています。

④ 浅沼 清孝 (71 歳)

「海上貨物運賃が高い」「ネットで物を買いたくても、送ってくれない」などの島民の流通への不満の声を、住民、議会の大きなうねりにし、関係機関に改善を働きかけます。来島者が四季折々の花を楽しめるように、各地域に特徴ある見所を整備し、地元根づかせていきます。

⑤ 山下 則子 (67 歳)

このたびの選挙では、町民の皆様より多数の票を投じていただきました。私は、その一票一票の期待にこれからの 4 年間も、実績でお応えしていく決意です。「笑顔あふれる八丈島に!!」を掲げ、お一人お一人が笑顔で暮らせる安心・安全な八丈島を目指し、全力投球してまいります。

⑥ 金川 孝幸 (68 歳)

一期 3 年間の議員活動を振り返り、一人の議員の力では町を動かすことが出来ないことが分かりました。同じ考えの議員と協力し合い政策を実現できるよう、これからも引き続き邁進してまいります。八丈島の可能性を活かした元気で明るく安心・安全な町造りに取り組みます。

⑦ 沖山 昇 (61 歳)

八丈町に 30 年 11 ヶ月、そして社会福祉協議会に 2 年 6 ヶ月。いろんな勉強をさせていただきました。この経験を活かし、八丈島への思いを議員の立場から介護・福祉を中心に、八丈島に住んで良かったと思っていただけるよう「創ろう！八丈町の未来を」に取り組んで参ります。

⑧ 岩崎 由美 (62 歳)

八丈町が直面している様々な課題について、限られた予算を有効に活用するために議員同士の議論を深め、協力しながら施策を立案することの重要性を痛感しています。また、コロナ禍で見送られてきた町民の皆さんから意見を伺う機会を増やしていきたいと考えています。

⑨ 浅沼 碧海 (34 歳)

この度の八丈町議会議員選挙において、皆さまのご支援とご厚情を賜り議員になることができました。期待と責任を胸に行動力・実行力・柔軟な対応力 3 つの力を存分に発揮して参ります。「島らしさ」と時代の流れ双方を汲み、より良い島にしていきたいです。よろしくお願い致します。

⑩ 山下 巧 (70 歳)

三期目になります。当初から島の観光と産業の活性化をマニフェストに海産物の養殖と栽培漁業の可能性、地域資源を利用した体験型観光の実施は国や都の推進事業として採択され数件のプロモーションがスタートしています。各議員の専門性を発揮した島づくりにご期待下さい。

⑪ 浅沼 憲春 (67 歳)

様々な課題や悩みに正面から向き合い、歳を取っても安心して暮らせる八丈町を目指し、島の経済の低迷、人口減少、少子高齢化に早期に手を打ち、明るく住みよい環境を整え、豊かな自然を次世代に引き継ぎ、国や都と協力連携して、島の今と未来を考え行動してまいります。

⑫ 山本 忠志 (71 歳)

誰もが不安なく安心して暮らせる八丈島を築くために、小さな声にも大きな課題にも真摯に取り組んでまいります。また、12 名の全議員がそれぞれの持てる力を存分に発揮できるよう八丈町の議会改革に取り組み、町の意思決定機関としてその役割を果たしてまいります。

編集後記

12 人の議員が決まりました。新人 4 人が当選したことはうれしいことですが、女性議員を 2 人失ったことは残念です。ただ、現職 8 人新人 4 人という構成は、なかなかいいバランスだと思います。議長が住民に寄り添う議会を目指す約束しているのに加え、意欲的な議員も多いの

で新しい取り組みや議会改革も前進しそうです。

新編集委員は、より読みやすくよりわかりやすい紙面づくりをめざして、さっそく相談をしています。次号からは構成も少し変えます。また、写真や SNS を駆使して、議員が活動している姿をリアルタイムで見られるような工夫もしていきます。(奥山幸子)

発行人 八丈町議会議長 山本忠志

編集 議会だより編集委員会 委員長 奥山幸子 副委員長 山下則子 委員 真田幸久 浅沼碧海

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2

tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437 メール gikai@town.hachijo.tokyo.jp